

IV 学校研究

1 研究の概要

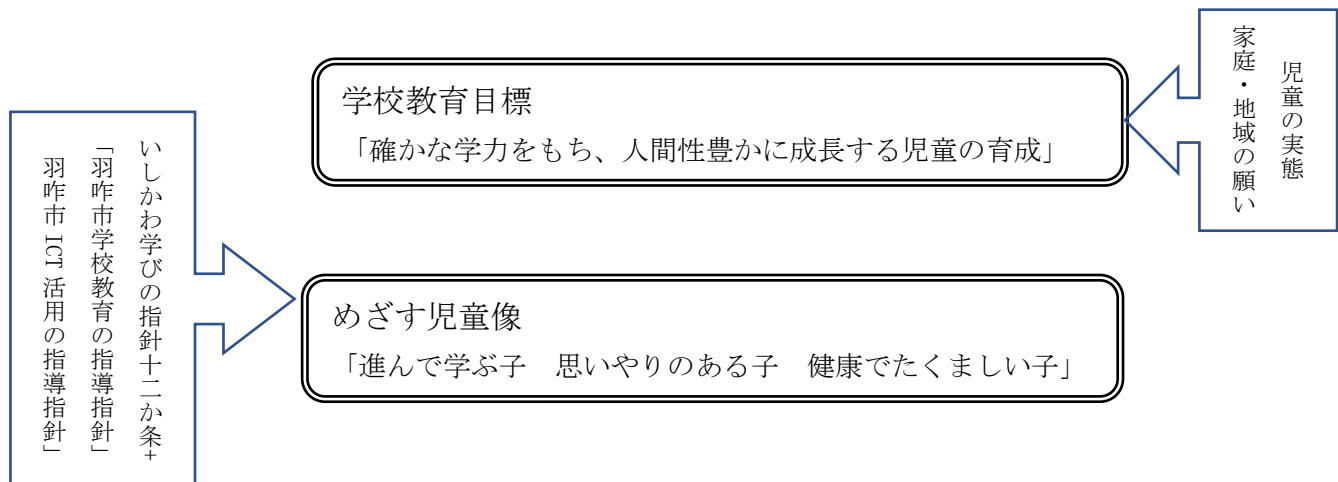
(1) 研究主題

自ら学びをアップデートする子の育成
～分析・みつめ・自己調整! 学んで楽しい授業づくり～

(2) 研究仮説

授業中盤の「アップデートタイム」で自分の学びを客観的に判断し、最適な方法を再選択する場を保障するとともに、整理・分析した跡を根拠に「みつめタイム」で自らの変容を自覚させる実践を全校で積み重ねれば、子供は自ら学びを最適化し、学ぶ喜びを実感することができるだろう。

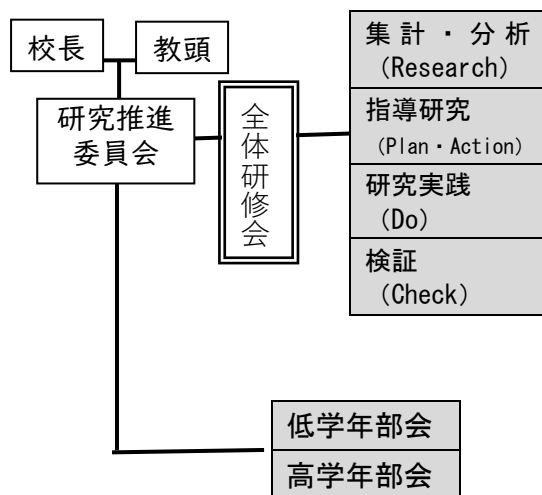
2 研究の内容



研究主題 自ら学びをアップデートする子の育成
～分析・みつめ・自己調整! 学んで楽しい授業づくり～

研究仮説 授業中盤の「アップデートタイム」で自分の学びを客観的に判断し、最適な方法を再選択する場を保障するとともに、整理・分析した跡を根拠に「みつめタイム」で自らの変容を自覚させる実践を全校で積み重ねれば、子供は自ら学びを最適化し、学ぶ喜びを実感することができるだろう。

4 研究の組織



【研修会について】

★研究推進委員会（推進委員）

月に1回程度，研究の進捗状況の確認，各チームからの提案・確認・共有

★全体研修会（全員）

月に1回程度，共通実践の確認，各チームで確認

★指導案検討会（低学年ブロック・高学年ブロック）

要請訪問の指導案検討を行う（訪問日の1ヵ月程度前）

★模擬授業（指定授業，全体研修は全員）

要請訪問の模擬授業を行う（訪問日の2週間程度前）

★授業整理会（全員）

要請訪問の授業整理会を行う（訪問後）